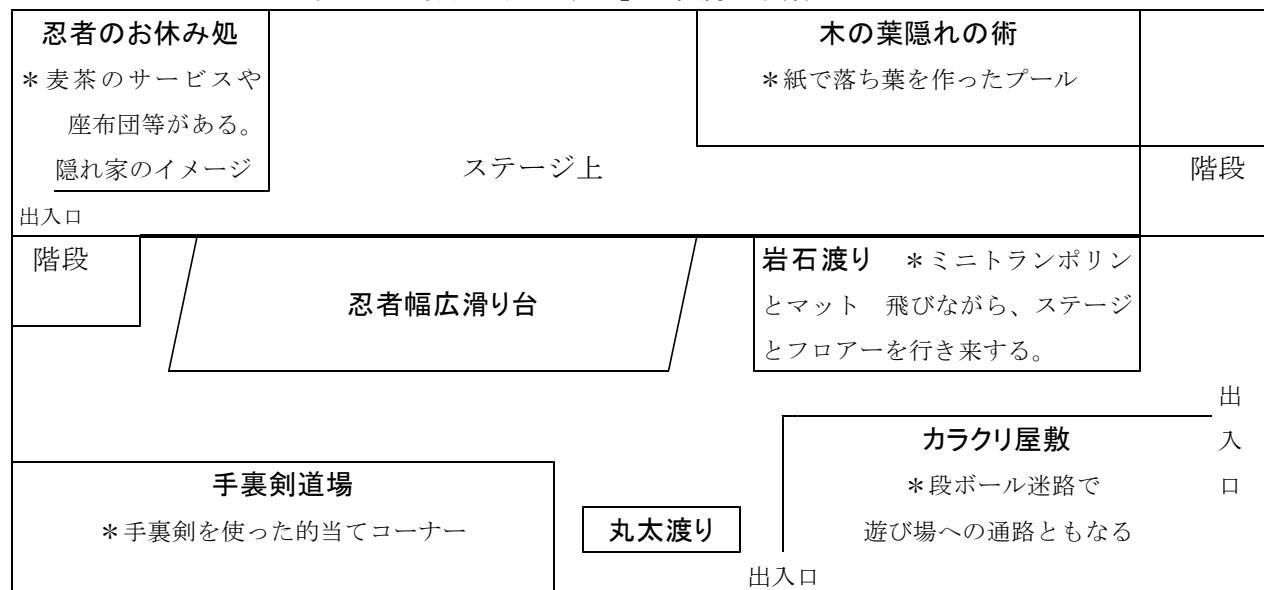


1. 単元名：忍者村で遊ぼう！

2. 単元概要

本単元のきっかけは子どもが楽しいそうに、忍者アニメの主題歌を口ずさんでいたことであった。また、朝の運動で「ジャンプ」「腹ばい」「前転・横転」等に取り組んでいたこともあり、当初はその歌をBGMに忍者をイメージして運動の活性化を図っていた。その過程の中で、子どもが手裏剣を投げるポーズをする等、「忍者」が生活のブームになった。そこで、忍者をテーマに遊びを中心とした生活単元学習を展開することになった。

単元「忍者村で遊ぼう！」の実際－具体的なイメージ



3. 単元目標

- ①様々な動きで各コーナーをクリアしたり、遊び場の用具や装飾を作る。(知・技)
- ②コーナーの周り方や滑り方、投げ方等を工夫して遊んだり、忍者村をイメージしながら用具や装飾作りをする。(思・判・表)
- ③友達や先生と誘い合い・競い合いながら忍者村で楽しく遊ぶ。(学)

4. 単元の日程計画

午前(10時～11時30分)	午後(13時30分～14時15分)
「忍者幅広滑り台」「手裏剣道場」は単元当初から設置し、それ以外のコーナーはマット、平均台等で代用しつつ、順次、遊具・用具を増やすこととした。	「木の葉隠れ」をはじめ、各コーナーの用具・装飾を子どもに応じて、連日、制作した。

5. ポイント解説

- ①体育館のステージ側半分を占有して、上図のような遊びコーナーを常設した。サーキット風にめぐることもできる。また、静かな雰囲気が必要な子どもや友達とのかかわりが得意な子どものために「お休み処」という隠れ家も用意した。
- ②朝の会では忍者テーマソングで合奏したり、保護者有志がお揃いのバンダナを制作したりする等、学部全体が忍者一色の生活になった。
- ③単元終盤には保護者や近隣の特別支援学級を招待し、交流及び共同学習としても発展することになった約1ヶ月間の取組である。